

2020・中学校「平和のバトン：広島の高中生たちが描いた8月6日の記憶」 1/2

□この本は広島の被爆証言者の記憶を、高校生が絵に描いて記録する『次世代と描く原爆の絵』プロジェクト

参加者のお話です。なぜこの本を選んだかという、だからです。

□私は広島の 原爆について あまり詳しく知りませんでした / 授業で勉強しました / とても興味を持ちました。

□広島の 原爆は 70 年以上前のことです。今、私たちの生活の中で戦争や原爆について考える機会は
だと思います。

□この本に出てくる広島の 原爆についてのお話は なところが
信じられませんでした / おどろきました / 興味を持ちました / 残酷だと思いました / もっと知りたくなりました。

□もし私が絵を描くことで原爆のことを記録するプロジェクトを知ったら、
だと思いました。

□現代の私にとって原爆とは、だと思いました。 / 感じました。

□カメラやビデオのない昔の日本にとって 記録を残す / 広島の悲惨な状況を記録する というとは、
なのだろう と思いました。

だからこそこのプロジェクトは、だと思いました。 / 感じました。

□この本を読んで一番おどろいた / 悲しくなった / 恐怖を感じたことは、です。
なぜなら、だからです。

□そして、ということもはじめて知りました。

□この本を読んで一番 心が動かされた / 惹きつけられた / 感動した 言葉は、
です。

なぜなら、だからです。

□私はこの本を読みながら、もし原爆の恐ろしさを誰にも伝えることなく被爆証言者が亡くなってしまったら
どうなるのだろうか考えました。だと思いました。 / 感じました。

□そのことを考える / 想像する と、このプロジェクトや原爆の恐ろしさを後世に伝えることの意義 / 必要性を
感じることができました。だから、私はこの本を読んで
と思いました。 / 考えました。

□もし私が『次世代と描く原爆の絵』を見る機会があったら、
を見てみたい / してみたい / 考えてみたい / 感じてみたいです。

□ 私はこの本の中で一番 恐ろしさを感じた / 記憶に残った / おどろいた / 残酷だと思った / 怒りを感じた 絵は、
.....
です。

□この絵と書かれた状況についての証言を読むと、より

.....

だと思いました / だと感じました

□しかし、たくさんの被爆証言者がつらい／悲しい／残酷な記憶を語ってくれました。私は、
.....
だと思いました／だと感じました。

□今もなお、たくさんの人が原爆の恐ろしい記憶や被爆して原爆症となって発生したガンに苦しむ人がいます。

私は だと思いました / だと感じました。

☐今、日本人のほとんどの人が戦争を体験していません。私は（戦争を知らないということは）
.....
なのではないかと思いました / 考えました。

□そして、これからも日本で暮らす人々が、被爆証言者の残した記憶と高校生が書いた絵を知ること
.....
なのではないかと思います / 考えました。

□この言葉 / 感動 / 気持ち を忘れずに、「平和」であることがあたりまえだと 考えずに / 感じることなく

過去の記憶に目をそむけずに / 被爆証言者の方々を通じて過去を知り / 平和であることの意味を考えることが

だと思いました / だと感じました。

<https://handoku.com/>